



# 棚田の暮らし

## ワークショップ2025

■主催 / Gomyo 倶楽部(gomyoclub.net)

東かがわ市五名地区に棲む絶滅危惧種を含む貴重な生き物たち、彼らは人と農とのかかわりの中でその暮らしをつむいでいます。自然観察会、田植え、草取り、稲刈りなど棚田で続く米づくりやそこでの薪火暮らしにあなたも加わって、田んぼや里山の生き物たちとふれあってみませんか？



■日時	第1回 野の花 生き物観察会	令和7年 4月 26日(土)現地	10:00 ~ 14:30
	第2回 田植え	令和7年 5月 24日(土)現地	10:00 ~ 14:30
	第3回 水田草取りと観察会	令和7年 6月 21日(土)現地	10:00 ~ 14:30
	第4回 稲刈り	令和7年 9月 27日(土)現地	10:00 ~ 14:30



■場所 / 大櫛川上流部・棚田周辺

■日程 / 10:00 現地集合・活動開始

- 第1回：田植えに備えて畦切り、田起し、水路の手入れを行います。水源の傍には花を咲かせたユキモチソウやエビネを観察します。棚田の周りではトンボやチョウが飛び始めます。捕虫網で採集し調べた後は標本作りの準備をします。
- 第2回：棚田で行われる御田植祭に参加し、昔ながらの手植えを体験します。水ゆるむ溜池ではドジョウやモロコ、ヤゴやタイコウチが、棚田周りではトンボやチョウが活発に動き始めます。見つけた昆虫を採集し、種類を確かめ標本作りに挑戦します。
- 第3回：化学肥料を使わず有機肥料で育てる水田には、多くの生き物とともにコナギやホタルイがはえます。手作業で抜き取りながら、オタマジャクシや水棲昆虫などを観察したり、トンボやチョウを採集して標本にしたりします。
- 第4回：実った稲を鎌やバインダーで刈取り、稲束を稲架に掛けて天日干ししていきます。秋の棚田や溜池で、里山の生き物たちの春とは違った顔を観てみましょう。

※ 各回とも昼食休憩には囲炉裏やおくど、ピザ窯などで薪火を使った野外調理体験を行います。

※ 14:30 現地解散

■定員 / 先着 20名

■参加費 / 無料 ただし野外調理体験の材料費実費 200円程度(当日受付にて集金)が必要です。

■申込み・問合せ / 藤原 090-2894-8114 もしくは [gomyo.club@gmail.com](mailto:gomyo.club@gmail.com) へ

住所・氏名・年齢・代表者連絡先(携帯電話・メールアドレス)をお知らせください。

4回全部でなく一部の参加も可能です。

■備考 / 参加者には、詳しい現地集合場所をお知らせします。

帽子、手ぬぐい、手袋、長靴、飲料水、あれば昆虫採集の用具などを各自持参ください。

各回とも 雨天が予想される場合は延期とし、別途日程の連絡をいたします。

※ 参加者はグリーンボランティア保険に加入します。

※ 本活動は、(公財)香川県環境保全公社から助成を受けています。

